

令和元年度 活動内容について

7月20日

出発（京都駅 → 関西国際空港 → セブ島 → 滞在先施設）

7月21日

- ・オリエンテーション（施設の説明、生徒一人一人の仕事の割振り）
※滞在中の2週間は、生徒と施設の子どもがバディーと呼ばれる2人組を作り、その子どもの担当として、身の回りの世話から勉強の手伝いや遊び相手までします。
- ・施設の子どもたちによる歓迎パーティ（自己紹介、アイスブレイク、バディーとの対面式）



7月22日

- ・ボランティア初日
朝5時から全員出勤。子どもたちのシャワーや食事のお手伝い、子どもたちが学校へ行った後は、施設内の掃除や洗濯をしました。
※生徒たちは、気付いたことや気になったことがいくつもあったようで、休憩時間を削って早速ミーティングを開き、以下の2つのテーマについて全体共有の場を持ちました。
 - ①施設の子どもたちが施設に来た経緯について。早速、子供に聞いた生徒がおり、施設の子どもの反応は、「聞いてもらえた＝自分に興味を持ってくれた」という感じで、嬉しそうにしていたということでした。それを聞いた他の生徒も、自分はこういう話をした等、共有していました。
 - ②ゴミの分別について。施設では、ゴミの分別は必要ないと聞いていたのですが、実は集められたゴミを施設の方が仕分けされていました。それに気付いた生徒から、自分たちで分別しようと提案があり、そのために、分別できるゴミ箱を作ろうという計画が生まれました。
- ・午後はバディーの子どもとの時間です。宿題を教えたり、絵本を読み聞かせたり、一緒に遊んだり、思い思いに過ごしていました。



7月23日, 24日

- ・終日、施設での活動
- ・帯活動（ソーシャルワーカーとの交流）を開始

生徒の要望をもとに活動を組み立ててもらえる時間です。生徒からはフィリピンのこと、フィリピンが抱える問題について考える時間にしたいとの要望が出たので、ソーシャルワーカーやシスター達に質問したり議論したりする時間にすることになりました。

質問に丁寧に答えてくださる施設のシスターや子ども達のためにも、質問するだけでなく何か還元をしたいという提案があり、自分たちが学んだこと、考えたことを最終的にプレゼンテーションすることになりました。そこでは、単に知った情報をまとめるだけでなく、グローバルリーダーとして、問題に対して自分たちが実行出来る解決策を提案することになりました。



7月25日

- ・終日、施設での活動
- ・「ゴミ箱プロジェクト」が本格的に始動しました。滞在中の完成を目指し、今日はその作成日程を決め、早速裏庭で廃材を解体し始めました。
- ・夕方には、子どもたちとミサンガ作りを楽しみました。事前研修で準備していたことの一つです。京都市立高校生たちとおそろいのミサンガを子どもたちと持てるように一生懸命作り方を教えていました。

7月26日

- ・午前中は、フィリピンの大学生のボランティアグループが施設を訪れ、施設の子どもたち、市立高校生たちと一緒にゲームやダンスを楽しみました。
- ・夕方には基督教のお祝いのパーティがありました。中庭で施設の子どもたち、シスターたち、市立高校生たちでゲームを楽しみました。その後、ウベ（紫芋）とマンゴーのアイスクリームとシスター手作りのケーキが振る舞われ、同時に誕生日の近い高校生3人をみんなで祝ってくれました。

7月27日

- ・施設での活動はなし（休日）
- ・午前中はセブ工科大学（Cebu Institute of Technology）の学生との文化交流
フィリピンの伝統ダンス披露、バンブーダンス体験、自己紹介
- ・午後はセブ島の観光（マゼランの十字架、サントニーニョ教会）



7月28日

- ・施設での活動はなし（休日）
- ・午前中のグラスボート体験は荒天のため中止となり、フィリピン人の庶民が買い物をする市場を見学。
- ・午後はゴミ山とスラム街の訪問です。

現地の役所の方の案内で、2, 3人ずつ1組みで、8つの家庭を訪問させていただきました。英語が話せない家庭もありましたが、ジェスチャーも使いながら交流を深めていました。何を食べているのか、水はどこから汲んでいるのか、収入源は何か、困っていることは何か、学校に行っているのか、このスラム街に来るまでの生活…たくさんの質問が出ましたが、それに対し、住民の方々は丁寧に答えてくださいました。



7月29日

- ・終日、施設での活動。

昨日からルービックキューブがブームとなり、子ども達にコツを教えてもらう風景が至る所で見られます。ゴミ箱作りや子ども達のベッドに貼るネームカード作りなども進めています。

- ・午後は「フィリピンでの現状を知った上で、グローバルリーダーとして自分に出来る支援の仕方」をテーマにした課題研究の中間発表です。

A 班テーマ「富裕層と貧困層の経済格差」

B 班テーマ「(貧困等の)悪循環から抜け出す方法」

C 班テーマ「生活様式と(水)資源」

D 班テーマ「ゴミ山とスカベンジャーズ」※スカベンジャー→拾ったゴミを売って生活している人



7月30日, 31日

- ・終日、施設での活動。
- ・部屋用ゴミ箱がほぼ完成し、箱を飾る絵を施設の子ども達と共同で描きました。環境や自然を想像させる絵で飾られています。
- ・グループ課題探究は、中間発表での他グループからの質問やアドバイスを元にまとめを進めています。



8月1日, 2日

- ・終日、施設での活動。
- ・手作りのけん玉が大好評で、子ども達はけん玉を持って登校していきました。
- ・グループ課題探究の発表を行いました。

シスターや現地のコーディネーターにプレゼンをし、アドバイスをもらいました。施設の子どもの過去を聞いたり、ゴミ山を訪れたりした経験が大きいようで、それぞれが心を突き動かされ、とにかく自分達にできることはないか考え続けています。



8月3日

- ・施設で丸1日過ごせる最後の日。
- ・フェアウェルパーティでは、お互いにダンスや歌を披露したり、ゲームをしたりいつものように盛り上がりました。ただ、その中にもそこら中に涙がありました。



- ・午後はこの滞在中に自分たちで作ってきたもののお披露目会をしました。

部屋に置く分別用ゴミ箱、それを集める外に置くゴミ箱、ベッドに貼るネームカード、そして感謝の気持ちを込めて描いた絵。また、施設側からサプライズプレゼントと感謝の歌を歌ってもらいました。



8月4日

- ・午前中に施設から宿泊ホテルに移動。
- ・午後は近隣の施設で自由に行動。

8月5日

- ・帰国（セブ島 → 関西国際空港）